



石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成28年12月1日 第46号

発行者：校長 伊藤 俊

師走 — 12月も盛りだくさん —



〔検査期間につき職員室入室禁止〕



〔2学年定期検査〕



〔3年生体育の授業〕



〔修学旅行のしおり〕

今日から12月です。11月29日(火)から始まった2年生の定期検査もあと1日です。最後まで粘り強く取り組みましょう。そしていよいよ4日(日)からは関西方面に修学旅行となります。体調に留意し、ルールを守り「有意義な」旅行にしてください。1・3年生は5日(月)から8日(木)まで検査となります。最後まで粘り強く取り組みましょう。特に本格的な受験シーズンを迎える3年生の皆さんにとってはこれからが正念場です。「大学入試センター試験」まであと45日。私立大学の一般入試開始までも60日を切りました。西高での授業日も37日しかありません。これから受験に向かう皆さんはもちろん、すでに進学・就職先が決まった3年生の皆さんにとって卒業までの1日1日の過ごし方が大きな意味を持ちます。進学・就職した先での生活を見据えて、いつどんな時も「正々堂々」「公の心」「裏表のない」西高生らしい行動を心掛けてください。

師走。「(我々教師も含めた)師匠が忙しく走り回る」「仕事・年・季節が終わる」語源由来には諸説あって「当て字」という説もありますが、師走などの陰暦による和風月名の他、「一月」「二月」という表記も、奈良時代の720年に編纂された「日本書紀」などに和風月名と数字による月名が表記されていて、大昔から使われていたようです。これから「流行語大賞」「一年を表す漢字」「重大ニュース」等、一世風靡の言葉が並ぶでしょう。「蕉門に千歳不易の句、一時流行の句と云う有り。これを二つに分かって数えたまえども、その基は一つなり。不易を知らざれば基立ちがたく、流行をわかまえば風新たならず」芭蕉の残した言葉です。本質的なもの「不易」を追究するためには、常に変化「流行」をしていかねばならないのであり、変化する(流行を追う)場合も本質的なもの(不易)を踏まえていかねばならないということでしょうか。西高生の皆さんには、いつどのような時代でも「本質的なものを見抜く力」を身につけて欲しいと思います。無限の可能性を信じて頑張れ西高生!